

メキシコ研修レポート octubre de 2017

グアナファト交流事業報告

鈴木 萌

グアナファト交流事業研修

2017 年 10 月 12 日から 15 日までの 4 日間、広島県と友好提携を締結しているグアナファト州で実施された交流事業に参加しました。この研修では、在レオン日本国総領事館やグアナファト州政府表敬訪問やマツダメキシコ工場見学、伝統産業モヒガンガ見学、グアナファト大学の学生との交流、観光を通して、グアナファト州への理解を深め、広島とグアナファト州間で様々な面で関係が促進されつつあることを学ぶとともに、両者間の繋がりを再認識することができました。

今回の研修レポートでは広島とグアナファトの関係や交流事業を通して体験したこと、感じたことを紹介していきたいと思います。



広島県とグアナファト州

グアナファト州は豊かな銀の生産を背景に、1520 年代にスペインによって最初に植民地化された地域の一つとして発展し、18 世紀には世界の銀の 1/3 がここグアナファトで産出されていました。現在でも銀の他、金、銅、鉛、オパールなどが産出されています。州都のグアナファト市は 1988 年にユネスコの世界文化遺産に登録され、町全体が保護・管理されています。

広島県は 2014 年にメキシコ合衆国グアナファト州と友好提携を締結しました。この友好提携のきっかけとしては、自動車関連産業を中心に広島県関連企業が多数進出していること、マツダ(株)メキシコ工場の操業開始等が挙げられます。友好提携締結後は、自動車産業を中心とした経済交流が盛んになっただけでなく、文化交流や青少年の交流といった面でも関係が強化されつつあります。

在レオン日本国総領事館表敬訪問

在レオン日本国総領事館では職員の方から、グアナファト州での広島関係企業を始めとする日本企業の活動状況や在住者の状況について概況説明をしていただきました。

在レオン日本国総領事館はメキシコ中央高原地帯への日系企業の大量進出、邦人の急増に伴う、日本企業支援や領事サービス提供の必要性の高まりを背景に 2016 年 1 月に新設されました。日系企業が進出している主な要因としては近くを北米大陸を横断する鉄道が通り、港に近いという立地条件の良さが挙げられ、これからも日系企業の進出増加が予想されているそうです。

マツダ工場見学

グアナファト大学の学生の皆さんと一緒に、サラマンカ市にある、マツダメキシコ工場を見学しました。社員の方と直接お話をする機会を頂いた他、カートに乗って工場内を見学させていただきました。

社員の方から、工場建設に際して、建設地に茂っていたメスキータを移植するなど環境保全に取り組んだり、マラソン大会や地域の子供が参加するサッカー大会を開催するなど、地域住民との交流に力を入れるなどマツダメキシコ工場が「良き企業市民」としての使命を果たす努力をしていることを伺いました。

私がこの工場見学で特に印象的だったのは、マツダが高品質な自動車を生産するために人材育成に力を入れている、ということです。工場見学では、工場内に設置されている、従業員が技術を身に着けるための‘Dojo（道場）’も見せていただきました。



グアナファト大学の学生との意見交換会

工場見学の翌日、グアナファト大学の学生の皆さんとマツダが進出する前と現在のグアナファト州にはどのような変化があるか、等のテーマについて意見を交換しました。

この交換会を通して、マツダを始めとする日系企業の進出によって、日本がグアナファトの人々にとって身近な存在になったこと、また、マツダがグアナファトにもたらした影響の大きさを実感しました。

最後になりましたが、今回の交流事業にご協力いただいた関係者の皆様はこの場を借りて御礼申し上げます。本当にありがとうございました。この研修を今後の糧にしていきたいと思っております。

